

平成25年度授業シラバスの詳細内容

| | | | |
|---------------|--|-------|---------|
| 科目名(英) | 日本語4 (Japanese4) | 授業コード | A023301 |
| 担当教員名 | 河野恵美子 | | |
| 配当学年 | 2年留学生 | 開講期 | 前期、後期 |
| 必修・選択区分 | 選択 | 単位数 | 1 |
| 履修上の注意または履修条件 | 2年生以上の留学生が対象。「日本語3」「日本語4」はクォーター制で、前期の前半に「日本語3」、後半に「日本語4」を行いますので、「日本語4」も合わせて受講してください。 | | |
| 受講心得 | 毎回、次の回の教材を配布しますので、必ず読んできてください。 | | |
| 教科書 | プリント教材 | | |
| 参考文献及び指定図書 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループジャマシイ編 『教師と学習者のための日本語文型辞典』(くろしお出版) ・友松悦子・宮本淳・和栗雅子 『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』(アルク) ・専修大学国際交流センター監編『トピックによる日本語総合演習 中級後期・上級』(スリー) | | |
| 関連科目 | 日本語1、日本語2、日本語4 | | |

| | |
|-------|--|
| 授業の目的 | さまざまなテーマについての文章を読み、それぞれのテーマについての語彙力を高め、書いたり話したりできるようにします。 |
| 授業の概要 | 毎回さまざまなテーマの文章を読んで、そのテーマについての基本的な語彙を習得し、そのテーマについて書いたり、話したりできるようになることを目指します。 |

| ○授業計画 | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週： 講義計画の説明および日本語力の確認 | |
| 第2週： テーマ1 教育(寺子屋式教育) | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第3週： テーマ2 言葉(ことわざの面白さ) | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第4週： テーマ3 コミュニケーション(非言語コミュニケーション) | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第5週： テーマ4 昔話(昔話について) | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第6週： テーマ5 日本の住宅(玄関のこと) | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第7週： テーマ6 食文化(生で食べるか、焼いて食べるか) | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第8週： テーマ7 仕事(企業型副業) | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第9週： テーマ8 生活習慣と宗教心(宗教心) | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第10週： テーマ9 環境(リサイクルからサイクルへ) | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第11週： | |

| | | |
|-----------------------------------|----------------|---------------------|
| テーマ10 ジェンダー(女の領域、男の領域) | | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第12週: テーマ11 ※読みたいテーマをあげてもらいます。 | | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第13週: テーマ12 ※読みたいテーマをあげてもらいます。 | | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第14週: テーマ13 ※読みたいテーマをあげてもらいます。 | | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第15週: テーマ14 ※読みたいテーマをあげてもらいます。 | | 配布資料 学習課題の時間 60分 |
| 第16週: 期末試験 期末試験(全クラス共通問題) | | |
| 授業の運営方法 | (1)授業の形式 | 「演習等形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | |
| | (3)アクティブ・ラーニング | |
| 備考 | | |

| | |
|-----------------------------|--|
| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
| 【関心・意欲・態度】 | ①身近な話題から社会的な話題まで、さまざまなテーマについて自分なりの意見を持つこと。 |
| 【知識・理解】 | ②各テーマについての基本的な語彙を習得すること。 ③読み取った内容を簡単な言葉で説明できるようになること。 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | ④各テーマについて自分の意見や考えをほぼ伝えられるようになること。 |
| 【思考・判断・創造】 | ⑤各テーマをめぐる意見に賛成か反対か、理由とともに述べるができること。 |

| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
|--|-----------------|---------------|--------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等(テスト) | レポート・作品等(提出物) | 発表・その他(無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | | | |
| 【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。 | 80点 | 10点 | 10点 | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | | | |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | | | | |
| <p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p> | | | | |

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|------------------------------------|---|
| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等(提出物) | <p>原則として、毎回、授業で扱うテーマに関する語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した宿題を出しますので、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。</p> <p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p> |
| 発表・その他(無形成果) | <p>2~3人のグループごとに、授業で扱うテーマに関する語彙・文型・内容理解、そのテーマに関した発表活動を行います。達成水準の目安は以下の通りです。</p> <p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p> |